

令和 6 年度（2024 年度）入学宣誓式 学長式辞

いのち

花々が咲き始め、生命の息吹きを感じる季節となりました。この春のよき日に、ご入学なさいます新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本学の教職員を代表して、心からお祝いを申し上げます。

ご列席くださいましたご家族の皆様にも、こころよりお祝いを申し上げます。誠にありがとうございます。ご来賓の皆様におかれましては、ご多用のなかご臨席を賜りまして有難うございます。衷心より厚く御礼申し上げます。

新入生の皆さんは、今日から、山陽学園短期大学・山陽学園大学・山陽学園大学助産学専攻科、そして、山陽学園大学大学院の学生として、いよいよ新しい生活が始まります。大きな期待を胸に、本日を迎えられたことと思います。皆さんが、高等教育機関で学ぶことが許された者であるという自覚をもって、真剣にそれぞれの学問、専門的学びに取り組んでいただきたいと切に願います。

人数は少ないのですが、社会人として経験のある方も、新たに資格取得を目指して入学されました。人はいつからでも学べます。頑張ってください。また、外国からの留学生の皆さんも入学されておられます。遠く母国を離れての勉学は、どれほど多くのご本人の努力やご家族の応援が必要であるかは、想像に難くありません。母国語以外の言葉で生活し、大学の講義を受けられることを思いますと、その意欲に心を打たれます。本学は皆さんの入学を歓迎し、皆さんとの交わりを通して、教員も職員も、そして学生たちも「グローバルな視点」で、日本や世界を改めて見る事ができるようになることを願っています。

同時に、私は新入生の皆さんご自身が、状況が許せば、学生の中に海外に出かける機会を持つことができればと思っています。学科や学年によって異なりますが、大学生となった皆さんは、中学生や高校生以上に夏休みや春休みが長期にわたってあります。その授業のない休みを利用して、感性豊かな若いうちに、可能ならば日本を外から見てほしいと思います。「出会い人は人を変える」は、誰もが認める真実です。それが、たとえ「一期一会」の出会いであっても、若い皆さんは、きっとそれまでに感じたことのない何かを自ら感じ取ることになると思うのです。

そうしたことが可能なように、本学はこれまでも、全学科の学生対象に海外活動のための助成制度を設けてきました。それらに加えて、今年度からは同じく全学科の学生対象に、サマー・イングリッシュ・コース（夏季英会話集中講座）を、皆さんへの支援の一つとして提供することにしました。こうした本学の学生だけの特権を大いに活用して、若いうちに全世界の共通言語となっている英語に慣れ親しみ、日本以外の国へ足を運んで、改めて日本社会を、そしてご自分を見つめていただきたいと思います。

海外体験だけでなく、本学では身近な地域との交わりを大切にしております。授業での実習やフィールドワークももちろんですが、ボランティアやサークル活動にも積極的に参加していただけるように、水曜日の四限以降には原則として授業を組まず、学生の皆さんが自由に活動できるように、本学独自の仕組みを作っています。こうした時間を使って、人や社会と深く関わり、多様な価値観に出会い、自分以外の他者のことを考えることのできる「愛と奉仕」の精神の持ち主となってくださることを期待しています。

さて、新入生の皆さんは、いうまでもなく卒業後の職業を視野に専門的知識や技能の習得、資格や免許の取得を目指しておられることと思います。大いに頑張っていたきたいと思っていますが、皆さんも、大学での学びが、楽しいこと面白い事だけではないということを重ね承知されていると思います。時として学びの過程で壁にあたることがあります。いろいろな理由でスランプに陥った時には、「何のために学ぼうとしていたのか」をもう一度しっかりと考えていただきたいのです。

本学の教育の基礎を築かれた愛と奉仕の実践者上代淑先生は、「人は何のために生きるのでしょうか」と絶えず若い人たちに問いかけておられましたが、「何のために学ぶのか」は、やがて「何のために生きるのか」という問いとなり、その問いに自らが答えざるを得なくなるのです。そうした自己への問いかけがあって初めて、皆さんの「人間的成熟」が可能となるのです。

有名な教育小説『エミール』の著者で、啓蒙期を代表する思想家ジャン・ジャック・ルソーは、「人は二度生まれる」と語っています。言うまでも無く、最初は「身体（からだ）の誕生」ですが、第二の誕生は「精神の誕生」「魂の誕生」です。この世に生まれ出た後、真に人間らしい精神的「生」を営むようになってゆくのは、青年期に入ってからだということです。この「精神の覚醒・誕生」の時期は、青年期をおいて外にないのです。勉学の途中で、スランプに陥った時には、時には投げ出したくなったり、逃げ出したくなったりするでしょう。しかし、そうしたときには、辛抱強く、自分自身の内面を見つめ、まさに「第二の誕生」の時なのだと自覚し、新しい自分の誕生を、自分自身で促すように、努力をしていただきたいのです。

そうした精神的に成熟した大人になってゆく道のりを、誠実に歩み抜いた教員が、学内にはたくさんいますので、どうぞ研究室のドアをたたいてください。私たち教職員は、Student First をモットーとしていますので、あなた方を全力でサポートします。学問を通して、また、授業や実習を通して、さらにサークルやボランティアや海外体験を通して、新しいご自分になってください。人と深く関わること、交わることを通して行われる人格的交流のなかで、励まされたり、期待されたりしているうちに、おそらく皆さんは、人間的成長を果たすのではないのでしょうか。多様な価値を持った人々との「出会いと交わり」こそが、人間をほんとうの人間らしく成長・成熟させると私は考えています。

最後に、ご来賓の皆様とご家族の皆様には、引き続き学生たちの学びをご支援頂きますようお願い申し上げます。

もう一度申します。新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。皆様の本学での学生生活が「よき学びの時、よき交わりの場」となりますよう、心よりお祈りし、式辞とさせていただきます。

令和 6（2024）年 4 月 1 日

山陽学園大学・山陽学園短期大学 学長 齊藤育子